令和５年度

第４３回新報児童オリンピック（U-１０）バレーボール大会

「感染症拡大防止及び熱中症対策特別措置」

沖縄県小学生バレーボール連盟

１．事前対策（事前指導及び確認事項の徹底）

（１）大会役員及び参加チーム（スタッフ・選手・保護者）は、安全な大会開催のために、**「感染症拡大防止に伴う特別措置」を遵守する。**

（２）各地区連盟及び各チーム責任者は、参加チームへの事前指導を徹底しておく。

（３）大会参加者（大会役員・選手・スタッフ・保護者等）は、**沖小連 HP** に掲載されている「健康チェックシート」の項目に沿って、日常的に健康状態をチェックし、いずれかの項目に該当する場合は、参加を自粛（禁止）する。

（４）大会への参加を自粛（禁ずる）する項目

①チェックリストに該当する人。

②大会当日、３７．５度以上の発熱した人。

③大会５日前（7月２４日）以降に、感染（陽性）した人。

※尚、「健康状態チェックシート」は、あくまでも、個人の参加を規定する目安であり、チームに該当者が出た際の、チームの出場を禁ずるものではない。

※２週間以内に、項目に該当する症状があって、医師の診察を受けた者で、医師によって、感染症との関わりが無いと診断された者は、その限りではない。

２．大会当日

（１）大会運営全般（総務委員会）

①朝、体育館に入館するすべての人は検温を行う。検温結果、**３７．５度以上**の方は、館内への入館を禁ずるものとする。

②試合会場（２１世紀の森体育館・各小学校体育館）入り口及び本部席に、アルコール消毒液を準備する。

③体育館に入館するすべての人は、入館時に、手指のアルコール消毒を行う。

※尚、各チームについては、チームで担当者を決めて、チームで準備したアルコールで消毒を行う。

※その後、館内に出入りするすべての人は、各チームで準備した消毒液で手指を消毒する。

④マスクの着用は推奨するが、熱中症等を勘案し任意とする。

⑤1 チーム当たりの体育館への入場人数を以下のように制限する。

〇１チーム当たりの入館人数（指導者・選手・児童・保護者　等）を３０名以内とする。

※試合又はセット毎に、ご父母(観戦者)を代えることは、可とする。

⑥観戦者は、お互いに距離を取って（１メートル以上）観戦し、チーム控場所の席（スペース）及び手すり等の消毒を行い退館する。

⑦試合会場の窓及びカーテンは、換気のため終日開放する。

⑧チームで昼食をとる際には、向かい合うことなく、可能な限り密を避ける。

⑨主会場（２１世紀の森体育館）には、２日間にわたり看護師を配置する。

（２）競技上の対策（競技委員会）

①セット間のベンチ移動の際には、自分の座った椅子を持って移動する。

②試合終了後のベンチは、使用したチームで椅子及びベンチ等の消毒を行う。

※消毒液及び拭きとる布は、チームで持参する。

※試合終了後、次の対戦チームとの入れ替えをする。(アナウンスを入れる)

（３）審判上の対策（審判委員会）

①主審・副審含め、補助審判（線審・スコア係・記録係）等のマスク着用は任意とする。

②試合開始前、審判員は、審判台・記録席・得点掲示椅子・ラインフラッグを消毒し、手指の消毒を行う。また、記録用の筆記用具は、チームで準備する。

③線審をする際は、ゴム手袋（ビニール可、チームで準備）を着用すること。

３.「熱中症」対策

（１）喉が渇いていなくても、こまめに水分補給をし、熱中症対策に努めること。

（２）試合に関わらない選手児童は、体育館外の日陰で待機し、時々マスクを外したりするなど、熱中症対策に気を配ること。

（３）気分が悪くなったりしたときには、絶対無理をしないで、チームの、または近くの大人に伝えること。

（４）お互いの様子を注意して見てあげて、様子が変だと思ったら、チームの指導者、または近くの大人に伝えること。

※主会場（２１世紀の森体育館）には、２日間にわたり看護師を配置する。

４．事後対応

（１）大会終了後の各チームの感染状況等の報告義務は、特にないものとする。

上記の事項を熟読・遵守し、

感染症の感染拡大を防ぎ、安全で安心な大会にしましょう！